

**【教育目標】**

進んで学ぶ子ども  
思いやりのある子ども  
たくましい子ども



# 夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.9

令和2年7月16日

中央台東小学校

校長 林 和 樹

## 一人一人の育ちに寄り添いながら、急がず・焦らず・丁寧に

1学期も残り三週間となりました。6月1日からの学校再開からあつと言う間。学校では、学期末のまとめや夏休みの過ごし方について指導が始まっています。感染予防・拡大防止対策による様々な制約が続くなか、子どもたちの頑張りや保護者の皆様のご理解とご協力のお陰で、徐々に学校生活や教育活動も軌道に乗ってきたと思っていたのですが、時間の過ぎる速さに驚かされます。

土曜授業と長期休業の短縮によって、学習内容の遅れは何とか取り戻せる見通しができてきました。しかし、臨時休業によって失ったものは、想像する以上に大きかったことを、改めて痛感しています。入学・進級の4・5月は、子どもたちが新しい友達・先生と出会い、社会性や集団・仲間意識、自覚の芽生えなど、心が成長する大切な時期でした。そこで、再開にあたり、もう一度始めからやり直すつもりで指導することとしました。しかし、1か月が過ぎた頃から、困り感を強める子どもが見られ、友人間のトラブルや生活・学習態度の乱れが気になっています。夏休みまでの三週間、児童一人一人に寄り添い、急がず・焦らず・丁寧に指導していくことを、再度、教職員で共通理解したところです。

現在、コロナ禍のため、授業参観・学級懇談等を実施できずにいます。つきましては、**お子さんのことで心配や悩み等がありましたら、どうぞ遠慮せずに、担任にご相談いただきたい**と思います。

## 《 1学期の通知票 について 》

臨時休業のため、年度当初の予定とは大きく変更、学習内容・活動や時期の入れ替えを行っています。また、感染予防・拡大防止策のため、現在も様々な制限・制約のもとでの教育活動・授業となっています。そのため、児童一人一人の評価を適切に行うことにたいへん苦慮しており、各学年・教科等をそろえることが困難な状況です。

教職員で評価方法や通知票の作成等について検討した結果、ゆとりをもって子どもたちと向き合いながら指導の充実を図るとともに、終業式の7月31日までしっかりと授業を行い時数を確保するため、「1学期の教科の学習については、観点別の三段階（A・B・C）評価を行わず、総合所見で学習の様子をお知らせする」ことといたしました。コロナ禍とは言え、学級懇談会等において、直接、通知票について詳しく説明することができずたいへん申し訳ございません。心よりお詫びするとともに、保護者の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

## 【 新たな授業日（7/21～31）における時程について 】

現在、残念ながら本校南校舎の教室にはエアコンがありません。そのため、猛暑が予想される7月下旬の「新たな授業日」については、児童の健康面を考慮し次の時程といたします。

なお、詳しくは、各学年だより等でご確認ください。

7 月	1・2年生	3～6年生
20日(月)・21日(火)・22日(水)	5校時(14:00下校)	
27日(月)・28日(火)・29日(水)・30日(木)	4校時(13:00下校)	5校時(14:00下校)
31日(金)1学期終業式	3校時 1・2年(10:45下校) / 3・4年(10:55下校)	5・6年(11:05下校)

## 《5・6年生を対象に、メディア講習会を実施しました。》

臨時休業中、インターネット等を利用した学習等に取り組んでいただいたご家庭も多いかと思えます。現代社会は、インターネットを抜きには考えられなくなっており、様々な情報機器を使いこなすリテラシーを身につけることが求められています。しかし、とても便利なものであると同時に、様々なトラブルも発生、特に、未成年者を狙った犯罪の増加がたいへん懸念されています。

そこで過日、メディア指導員 根本 浩一 様を招聘、5・6年生を対象に「メディア講習会」を実施しました。「情報モラル」「オンラインゲームとの関わり方」「ライン等SNSの使い方」などについて、映像やクイズを交えながら、とてもわかりやすく講義をしていただきました。子どもたちは真剣に話を聞き、便利さや楽しさの陰に、「個人情報の流出・悪用や犯罪被害」や「ゲームの課金トラブル」そして、「ゲーム依存」におちいる仕組みなどを学ぶことができました。

- ・ゲームを毎日2時間すると(730時間)、学校で1年間の教科の授業(657時間)よりも多いこと。
- ・SNS(LINE・Twitter・Facebookなど)の年齢制限・推奨が12歳以上であること。
- ・18歳未満はスマホ・携帯電話のフィルタリング設定が法律で決められていること。



実は、中・高校での家出・非行、いじめなどの友人トラブルには、必ず、SNS・インターネット等が関係しています。また、小学校でも、「スマホ・携帯電話」「通信機能のあるゲーム機」での問題が多発。高額な機器の貸し借り、破損・紛失等に加え、勝手にゲームを進めた、データが消えたなど、保護者を巻き込み大きなトラブルに発展した事案も起きているようです。「まだ大丈夫」ではなく、子どもたちを守るためには、「今のうちに」「最初に」きちんと約束・ルールを家族で決めることが大切です。ぜひもう一度、お子さんと話し合い、約束・ルールの確認をお願いいたします。

### 生徒指導だより「ときの架け橋」をもとに、安全に・楽しく有意義な夏休みを！！

各学年・学級では、「夏休みの過ごし方」について指導を行っています。例年より短い夏休みですが、子どもたちはわくわく・どきどき。とても楽しみにしています。ぜひ、長い休みだからこそでできることに挑戦したり、コロナ禍でのストレスや疲れをとるためにゆっくりと休養したりして欲しいと願っています。そのためにも、事故やケガ、病気に気をつけ、そして、犯罪被害等に合わないために、生活や遊び、外出、自転車乗り等について具体的な注意点や学校・市内共通のルールを確認、指導していきます。つきましては、生徒指導だより「ときの架け橋」を参考にしながら、各ご家庭においてもご指導をよろしく願います。

なお、トラブル防止や被害防止のため、この夏休みから、「ゲーム機を持ち出して遊ばない」ように指導を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 「家庭学習」の習慣化・充実を図るために

福島県教育委員会では、学力向上のため、全教職員にリーフレット「授業スタンダード」を配付、授業の質的改善を図っています。しかし、子どもたちの学力を向上させるには、学校の授業に加え、家庭での自主的学習の充実も大切であると考えています。そこで、保護者を対象としたリーフレット「家庭学習スタンダード」を作成、各ご家庭でのご理解とご協力をお願いしています。平成29年度に全家庭に配付、翌年からは新入生に配付を続けています。県教育委員会のホームページに掲載されていますので、ぜひ、もう一度ご確認、ご活用いただきたいと思えます。なお、本校においても「家庭学習のしおり」を見直し、各ご家庭の実態に応じて無理なく取り組めるように一部改訂いたしました。各学級において、「家庭学習のしおり」をもとに、子どもたちに再度指導を行っています。つきましては、各家庭において家族で話し合い、お子さんが自主的に家庭学習に取り組めるように「心の支え」「環境づくり」「習慣づくり」などのご協力をお願いいたします。

※本校ホームページに「家庭学習スタンダード」を掲載しました。ご参照ください。